

**事業所名** グループホーム やすらぎ荘  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成21年 3月31日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 介護支援専門員  
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士  
B:現職 介護保険施設勤務  
資格・経験 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

**外部評価の結果**

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- 岡山県中西部、高梁市備中町の自然豊かな場所に「グループホームやすらぎ荘」はある。すぐ目の前には、備中町出身の書道家「川上景年氏」の作品を展示している「景年記念館」や、その隣には、備中町の農村文化の歴史文化遺産を展示している「備中郷土館」が建っている。近くを流れる川では、夏になると蛍も飛び交い、四季の移り変わりを肌で感じられるのどかな環境の中で入居者は暮らしている。
- ホームから歩いて10分ほどのところには、ホームの畑があり、畑で採れた新鮮な野菜を食材として活用している。
- ホームは地域の高齢者支援センターを改装して開設しており、ハード面での設備の見直しを行い、入居者の住みやすさや居心地の良さに考慮した改修を行っている。また、火災等の災害にも備え、スプリンクラーも設置しており、所長・管理者を始め職員は、入居者により安全な生活環境を提供するため、前向きに取り組んでいる。
- 食堂とは別に、入居者同士が団楽できるように部屋を設け、テレビを観たり、レクリエーションや趣味活動等を通して、入居者同士の交流を図っている。
- 入居者の思いを汲み取り、同じ目線に立って考え、入居者の心に寄り添ったケアの提供をめざしている。市街地から離れた環境にも関わらず、入居者と一緒に行きだけ市場に出かけて野菜を購入したり、通院介助やイベント等も積極的に計画して外出しており、日々楽しく暮らしてもらえるよう取り組んでいる。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- 開設4年目にあたり、運営目線で日頃の取り組みを見直し、新たな目標を設定して入居者の介護に組みたいとの職員の前向きな思いから、今回の外部評価の実施に至っている。介護計画の書式等の見直しや、加齢や重度化に伴う身体変化に合わせた入浴支援、服薬介助等、今後のさらなる取り組みにより、より質の高いケアサービスを提供していかれることを期待する。

**I 運営理念**

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		○
記述項目	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b> ・入居者一人ひとりの人格を尊重し、その人らしいペースを保ちながら、入居者自らが決めたり、希望を表したりすることを大切にしている。 ・「自由・健康・安全な生活の提供」をめざし、受診・外出・買い物・イベント・生家への訪問等、入居者の望む暮らしをできる限り提供し、一人ひとりの身体状況の変化や異常のサインを早期に発見し、重度化や入院を防ぐように努めている。 ・安全な生活の一環として、車の運転は「運転適性検査」を受けた職員が行うようにしている。また、火災等、災害時に備えて研修を行っている。隣接する高齢者福祉センターとも連携を図り、入居者の安全・安心な暮らしのため、環境整備に取り組んでいる。 ・入居者の身体状態に合わせて、住宅改修や環境整備を行い、安全で住み心地の良い住環境の提供をめざし、常に見直しや点検を行っている。		

**II 生活空間づくり**

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b> ・入居者にとって居心地の良い居室作りを行い、思い思いの時間の過ごし方や好きなことに自由に取り組める場作りを行っている。 ・洗い物や畑の手入れ、洗濯物たたみ等、入居者のできる事や好きな事を見極め、入居者が自分からしたくなるように働きかけ、やり甲斐や張り合いを感じて生きいきと暮らしてもらえるよう取り組んでいる。 ・入居者同士が気持ちよく暮らせるように、入居者の性格や相性等を考慮しながら対応している。トラブルは未然に回避し、入居者が不安やストレス無く暮らせるように心がけている。		

**III ケアサービス**

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		○
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		○
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

**III ケアサービス(つづき)**

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		○
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の変容に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援		○
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b> ・ちぎり絵や刺し子、草鞋作りや畑の手入れ等、入居者の好きな事や得意とする事を探り、入居前の経験を活かした活動ができるように心がけ、生活に張りや潤いを与え、日々生き生きと暮らしてもらえるよう取り組んでいる。 ・個人に関する記録は、事務所内のロッカーに保管し、他の入居者や訪問者の目につくことがないように留意している。また、面会簿は設けず、個別のシートに記入してもらっており、入居者のプライバシーの保護に努めている。		

**IV 運営体制**

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b> ・ホームは、地域高齢者支援センターを改装して開設したため、ハード面での改修が必要でもあり、手すりの取り付けや居室入口の段差解消、スロープ設置、廊下の床の張替え等々、入居者の身体状況に合わせた改修を行い、居心地の良い住環境の整備に努めている。また、加齢に伴う身体機能の低下等により、現在の住環境への適応が難しくなった場合は、随時、見直しを行い、必要に応じて順次改修を行い、入居者への安全な住環境の提供を行っていきたくと考えている。 ・自主評価は、業務の見直しと課題点を把握する良い機会として捉え、職員全員の意見を聞いて行い、より良いサービスの提供へとつなげている。 ・ヒヤリハット報告書を作成しており、今後は、検討会や研修会等も実施し、より安全な暮らしを提供していかれることを期待する。		